

南海フェリーについて

	タイトル	意見等
1	南海フェリー事業撤退について	<p>平素より地域行政のためにご尽力賜り、深く御礼申し上げます。            南海電気鉄道が運行する和歌山—徳島間を結ぶフェリー事業から撤退するというニュースを見ました。県民が関西圏へ移動する際に不便になり、物流にも影響が出ると思います。            香港の航空会社「グレーターベイ航空」の赤字補填を県が補助金でしていたと過去から、南海電気鉄道に和歌山県と協力して補助金を出してフェリー事業の運行継続を打診できないでしょうか？</p>
2	南海フェリーの存続支援に関するお願い	<p>徳島県の未来のために、日夜ご尽力いただいていることに深く感謝申し上げます。            本日発表がありました「南海フェリー」の存続について、一県民として切実な願いがあります。            私にとって、そして多くの徳島県民にとって、南海フェリーは単なる移動手段ではありません。以下の理由から、県の強力な補助金支援を含めた存続支援を強く要望いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 災害時の代替路としての重要性                南海トラフ巨大地震などの災害時、明石海峡大橋や大鳴門橋が通行不能になった際、フェリーは四国の孤立を防ぐ唯一無二の「命の航路」となります。</li> <li>2. 物流・経済への影響                トラック輸送をはじめとする物流網において、ドライバーの休息確保やコスト抑制の観点から、フェリーは極めて重要な役割を果たしています。航路がなくなれば、本県経済への打撃は計り知れません。</li> <li>3. 県民の生活と多様な選択肢                私自身関西が地元でありフェリーのおかげで快適に地元—徳島を行き来でき徳島県に住めております。徳島に橋の通行料金やガソリン代が高騰する中、徒歩や自転車でも関西へ渡れるフェリーは、学生や高齢者にとっても貴重なインフラです。                民間企業一社の努力には限界があります。この航路は「公共財」であり、徳島の財産です。どうか、県が主導となって財政支援や維持に向けた具体的な施策を検討していただき、未来へこの航路を繋いでいただけますよう、心よりお願い申し上げます。</li> </ol>
3	南海フェリー	<p>○後藤田正純徳島県知事は独立行政法人のJRTT鉄道建設・運輸施設整備支援機構の補助金を活用して、南海フェリーの新しい船舶建造費用に充当して南海フェリー徳島=和歌山航路の船舶航路維持を図らなければならない。</p> <p>※ 空海が繋ぐ海の遍路道の維持            ⇒ 「四国88箇所霊場と遍路道」と「紀伊山地の霊場（高野山金剛峰寺）と参詣道」の地域間文化交流の維持</p> <p>※ 紀州接待講（薬王寺）・有田接待講（霊山寺）・野上接待講（霊山寺）のお接待の維持</p> <p>※ 南海フェリーの歌「海のむこうに-小さな旅たち-」（歌 宝子）</p>

南海フェリーについて

	タイトル	意見等
4	南海フェリーの存続を強く希望します	<p>後藤田知事、お疲れ様です。            徳島に住む66歳の者です。            南海フェリーが撤退を検討しているというニュースを聞き、非常に危機感を感じております。この航路は、徳島と関西を結ぶ単なる交通手段ではなく、災害時の代替ルートや地域の物流を守る「命の道」でもあります。私自身、これまで何度も利用してまいりましたし、これからも徳島にとってなくてはならない存在だと信じています。            船の老朽化や燃料高騰など、維持が大変なことは承知しておりますが、県として最大限の支援を行い、何としてもこの航路を守り抜いていただけるよう、強くお願い申し上げます。徳島の未来のために、よろしくお願いいたします。</p>
5	南海フェリー撤退	<p>○ 後藤田正純徳島県知事は南海フェリーの撤退を阻止するために、南海フェリーへの独立行政法人国立高等専門学校機構の鳥羽商船高等専門学校・広島商船高等専門学校・大島商船高等専門学校・弓削商船高等専門学校からの航海士等の人材確保ができなければならない。            ○ 後藤田正純徳島県知事は南海フェリーの撤退を阻止するために、一般社団法人日本旅客協会を通じて、南海フェリーへの日本旅客協会の会員のフェリー会社からの船員等の人材確保ができなければならない。</p>
6	南海フェリー（徳島一和歌山航路）の存続に向けた公的支援と維持のお願い	<p>徳島市に在住している一県民として、南海フェリーの事業撤退というニュースに接し、強い危機感と悲しみを感じております。この航路の存続に向け、県として最大限の支援と対策を講じていただきたく、切実な思いを筆記いたしました。            私事ではございますが、私の妻は大阪府の出身です。県外から徳島へ嫁いでくれた妻にとって、和歌山経由で実家へスムーズに帰省できるこの航路は「心の支え」であり、徳島での生活を選んできた大きな理由の一つでもありました。私にとっても、妻の実家との縁をつなぎ、家族の交流を支えてくれるかけがえのない「生活の足」です。            もしこの航路がなくなれば、明石海峡大橋経由の陸路を余儀なくされますが、運転の負担増や移動時間の増大は、私たち家族の生活に多大な影響を及ぼします。            南海フェリーは単なる一企業の事業ではなく、国道28号の海上区間としての役割、災害時の代替路、そして私のような移住・定住家族を支える重要なインフラです。民間一社での維持が困難であるという現状は理解しておりますが、だからこそ「上下分離方式」の導入や公的補助の拡充など、行政の強力な介入が必要であると考えます。            徳島を愛し、ここで暮らし続ける県民の日常を守るために、どうか南海フェリーを失くさないでください。県知事をはじめ、関係各所の皆様の懸命なご尽力を切に願っております。</p>